

## 情報のないラベル — 知るべき情報が含まれていません



[Steven Hentges, Ph.D](#)

2017年11月21日 (火) [SAFETY](#)

BPAフリーのラベルを最近ご覧になりましたか？

私の言っていることが分かりますよね。 — あらゆる種類の食品や消費者製品の包装に表示されているBPAフリーのラベルは、多くの場合その製品が皆さんや環境にとって安全であることを知らせるために緑色のイメージが施されています。



このラベルが正確に何を意味するのか今まで不思議に思ったことはありますか？ もしこれらの質問のいずれかに対する回答が「はい」の場合、おそらく皆さんは誤解していると思います。

BPAフリーのラベルは、製品に含まれていない(例えば、BPAを含んでいない)と言う事のみを示していますが、製品に実際に「含まれている」ものは示していません。製品の安全性は製品が(何でないかではなくて、)何であるかによって異なります。さらに存在しないものがみなさんに悪影響を与えることはありません。

製品の安全性を理解するために、BPAフリーのラベルは鼻頂目に見てもほとんど有益な情報を提供していませんし、人の目を欺いている可能性があります。

**「欺く」とは人に真実ではないことを信じさせること  
メリアム・ウェブスター**

もし製品にBPAが含まれていた場合、BPAが安全であるという信頼できる情報源からの保証がかなりあります。健全な科学的理由から、米国食品医薬品局(FDA)は、「[BPAは安全ですか?](#)」との質問に対して明白に「はい」と答えています。

彼らは自分達の意見を支持するのに十分な科学的データを持っており、その意見は尊敬するに足りる世界中の政府機関によって共有されています。

従って製品に BPA が含まれていない場合、その製品にはまさしく何が含まれているのでしょうか。なぜ製造業者はそのことについて言わないのでしょうか。BPA フリーラベルには書いてありません。

BPA(ビスフェノール A)は他のビスフェノール類、例えば BPS、BPAF、BPAP などに置き換えられてきていると多くの人が言ってくれるでしょう。

ちょうど 2,3 週間前ですが、米国全国毒性学プログラム(The National Toxicology Program/NTP)は、「[Bisphenol A\(BPA\)類似化学物質と機能代替物質の生物学的活性](#)」という報告書を発表しました。この報告書の目的は、「公衆衛生上の懸念が新たに出てきている BPA 類似物質にどんな生物学的活性があるのか?」との疑問に答えることでした。

そのために NTP の科学者等は、BPA の代替物になり得る化学物質の安全性を理解するために、関連するかもしれない公開されているすべての研究について科学文献を吟味しました。この研究には 24 の化学物質が含まれており、その大部分は BPA に類似の化学構造を有するものです。

みなさんは NTP が 24 物質のうち 8 つの物質に対して関連する研究を見つけることができなかったことについて知りたいと思うかもしれません。残りの 16 物質については、限られたデータしか見つかりませんでした。

24 物質のいずれに対しても、BPA の安全性を支持するデータと比べると遥かに及ばない科学的データですら見つけられなかったため、NTP はこれらの物質を「消費者製品における BPA の適切な代替物として再考すべきである。」と結論づけました。

これは BPA フリーラベル付けされた製品で完全に安心できるものではありませんが、このニュースは見かけほど悪くはありません。一般的な神話とは対照的に、BPA フリーと表示されている製品中のそうした 24 の物質のいずれかに BPA が置き換えられたとは考えにくいからです。

しかし、まだ問題は残っています。BPA が含まれていない場合、何が「含まれて」おり、安全かどうかはどのように分かりますか？ 好奇心のおかげで知りたい気持ちが強いです。

最初に戻りますが BPA フリーのラベルはみなさんが知る必要があることを教えてくれません。それは単にみなさんが重要なことを知っていると思わせるだけです。実は皆さんは重要なことを知らないのです。